

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所特定原子力施設
2号機燃料取り出し用構台に関する面談

2. 日時：令和5年12月20日（水） 10時30分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁2階中コア会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、丸山主任原子力専門検査官、

山中原子力専門検査官

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

石井安全審査官、山下安全審査専門職

東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

プール燃料取り出しプログラム部2号構台設置PJグループ担当 他3名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス（株）から、2号機燃料取り出し用構台に係る鋼材変更及びあと施工アンカーの変更について説明を行いたい旨の申出があり、面談を行った。

○東京電力ホールディングス（株）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- ・ 変更した鋼材の材料及び使用部位
- ・ あと施工アンカーの施工実績による変更

○原子力規制庁は、上記説明内容を確認し、今後の検査計画に反映する旨伝えた。

○東京電力ホールディングス（株）より了承した旨回答があった。

6. その他

資料1：2号機燃料取り出し用構台に使用するSN490Bの使用部位の追加について

資料2：あと施工アンカーの施工実績による実施計画の変更に関する補足説明

（令和5年11月29日面談資料の一部抜粋）